

## 宮城県立がんセンター 個別施設計画

策定年月日

2024/1/4

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	宮城県立がんセンター		所管所属名称	地方独立行政法人宮城県立病院機構 (医療政策課)	
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公共用施設	中分類	地方独立行政法人施設	小分類	病院
主要建物概要					
構造	鉄筋鉄骨コンクリート	用途	病院	建築日	平成5年3月31日
経過年数	30年(本館)	耐用年数	39年	目標使用年数	50年
運営方式	直営	管理者名称	地方独立行政法人宮城県立病院機構	全延床面積(m <sup>2</sup> )	34,160.73
所在地	宮城県名取市愛島塩手字野田山47-1				
2 計画期間					
計画期間は令和5年度から令和8年度までの4年間(第4期中期計画期間(令和5年度～令和8年度))とする。					
3 点検・診断によって得られた個別施設の状態					
別添「定期調査報告書等」及び「宮城県立がんセンター短期・中長期保全計画書」のとおり					
4 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	地方独立行政法人法第7条			必要性の有無	有
業務内容	公立病院の運営				
必要性の判断理由	宮城県立がんセンターは、がんの種類や患者の状態に応じて、手術療法、放射線療法、化学療法、さらにそれらを効果的に組み合わせた集学的治療や緩和ケアなど、最適な治療を提供しており、施設の必要性は高い。				
5 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	宮城県立がんセンターは、病院建設後30年が経過し、開設当初から更新をしていない設備が多数あることから、計画的に更新・修繕工事を行っていく必要がある。 一方で、県において、仙台医療圏の4病院の統合・合築に向けた検討も行っていることから、実現時期なども踏まえた上で、病院機能を維持するために必要な修繕工事などを実施していく。 なお、目標使用年数は、宮城県公共施設等総合管理方針における推計条件を準用し、法定耐用年数の30%増とする。				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	がんセンター本館等は、建設後30年が経過し、電気設備・衛生設備、空調設備は耐用年数を大幅に超過して使用しているものも多く、経年劣化が進行している。 第4期中期計画期間(令和5年度～令和8年度)においては、4年間で約8億1千万円の施設整備予算を見込んでおり、特に、有事の際の影響が大きい電気設備を中心に更新・修繕工事を実施する。				
6 対策内容、時期及び概算費用					
別添「第4期中期計画 施設・医療機器整備計画要求項目一覧」及び「宮城県立がんセンター短期・中長期保全計画書(短期修繕計画(4年)・中期保全計画(10年)まで)」のとおり					
7 財源内訳					
借入金(転貸債等)					

## 宮城県立がんセンター 短期保全計画(第4期中期計画)

※令和5年4月1日時点

(単位：千円)

番号	区分	場所	内容	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	合計	建築・ 購入年度	耐用年数
1	電気	本館	真空遮断器	8,030				8,030	H5	15年
2	電気	本館	自動火災報知機（感知器類）	21,450				21,450	H5	15年
3	電気	本館	自動火災報知機（総合盤）	53,460				53,460	H5	15年
4	電気	研究棟	自動火災報知機（総合盤）	16,940				16,940	H5	15年
5	電気	本館	ナースコール	3,410				3,410	H5	15年
			R 5 年度査定	(10,390)				-10,390		
6	電気	本館	自家発電機		201,879			201,879	H5	15年
7	空調	本館	冷却塔		30,077			30,077	H5	15年
			R 6 年度査定		(23,256)			-23,256		
8	電気	本館	受電盤（高圧盤）			214,060		214,060	H5	15年
9	建築	本館	昇降機			165,000		165,000	H5	15年
			R 7 年度査定			(37,960)		-37,960		
10	電気	本館	受電盤（低圧盤）				193,600	193,600	H5	15年
			R 8 年度査定				(19,400)	-19,400		
合計				92,900	208,700	341,100	174,200	816,900		

## 宮城県立がんセンター 短期保全計画(第4期中期計画)

※令和6年1月4日時点

(単位：千円)

番号	区分	場所	内容	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度	合計	建築・ 購入年度	耐用年数
1	電気	本館	真空遮断器	8,030				8,030	H5	15年
2	電気	本館	自動火災報知機（感知器類）	21,450				21,450	H5	15年
3	電気	本館	自動火災報知機（総合盤）	53,460				53,460	H5	15年
4	電気	研究棟	自動火災報知機（総合盤）	16,940				16,940	H5	15年
5	電気	本館	ナースコール	3,410				3,410	H5	15年
			R 5年度査定	(10,390)				-10,390		
6	電気	本館	自家発電機		201,879			201,879	H5	15年
7	空調	本館	冷却塔		30,077			30,077	H5	15年
			R 6年度査定		(23,256)			-23,256		
8	電気	本館	受電盤（高圧盤）			214,060		214,060	H5	15年
9	建築	本館	昇降機			165,000		165,000	H5	15年
			R 7年度査定			(37,960)		-37,960		
10	電気	本館	受電盤（低圧盤）				193,600	193,600	H5	15年
			R 8年度査定				(19,400)	-19,400		
合計				92,900	208,700	341,100	174,200	816,900		